

ビューン

加速記事

学校名 熊本市立出水小学校

学年

5年

氏名 磯部真歩

会社名 取組み	東急電鉄	阪神電気鉄道株式会社	JR(全て)	京王
フリー スペース	○	○	○	○
車椅子 スペース			○	
広い改札	○			○
エレベーター	○	○	○	○
サービス介助士	○		○	

各鉄道会社がどんな取組みをしているかの表

スペース出来てゆく

最近バリアフリーなどが広がっています。鉄道会社もそんな時代の流れに乗って、バリアフリーな取組みが広がっています。例えば、ベビーカー、車椅子向けのフリースペース、(ほぼ全ての鉄道会社)車椅子用の座席である、車椅子スペースがあります。バリアフリーな取組みは、駅の中でも広がっています。例えば、通常より広い、改札があったり、(東急電鉄、京王)エレベーターの設置(ほぼ全ての鉄道会社)によって、駅の中は移動しやすくなっています。また、東急電鉄、JR九州は、サービス介助士が移動などを手伝えるサービスがあります。(JR九州は、サービス介助士の資格をとることを、社員に勧めているようです。)このようなサービスは、私はいろいろな鉄道会社があるからだと考えました。なぜなら、いろいろなサービスを提供することによって、さまざまなお客さんに来てもらいたいからです。その売り上げで、さらにいいサービスを提供できるため、いいことが多いのです。そのことも相まって、いろいろな会社がこのようなサービスを提供していると考えました。しかし、車椅子スペースや、サービス介助士によるサービスは、予約しないと使えなかったり、人がいない無人駅だと使えません。なので、このようなサービスをしている会社を使うことは、このような取組みをしている会社に、寄付をしているようなことになり、さらにバリアフリーな取組みを進めることとなります。車だけではなく、電車などを使うことによって起きるいいこともあるのではないのでしょうか。

地方によるバリアフリーの違い

各鉄道会社のそれぞれのサービスを大きくわけてみました。(JR)



JRの中でも、さまざまな取組みがあるようで、それぞれの地域に合ったやり方で、取り組んでいるそうです。小さいところからコツコツとやっていくのが大事なのを知りました。

まとめ

バリアフリーな取組みは、いろいろなところで取り組まれていることがわかりました。私は、このような取組みはいろいろな公共交通機関でとりくまれるべきだと思います。